

2013年度 中間決算概要

2013年度 セグメント別 中間決算概要

(単位：億円)

	2012.9 実績 [A]	2013.9 実績 [B]	増減 [B] - [A]	% [B] / [A]
営業収益	955	994	39	104.2%
空港運営事業	540	534	▲6	98.7%
リテール事業	247	288	41	116.8%
施設貸付事業	152	157	4	103.1%
鉄 道 事 業	14	14	0	103.2%
営業利益	202	233	31	115.5%
空港運営事業	61	70	8	114.6%
リテール事業	72	87	14	119.9%
施設貸付事業	66	73	6	109.7%
鉄 道 事 業	2	3	0	128.8%

セグメント別損益の状況①



空港運営事業

(単位：億円)

	2012.9 実績 [A]	2013.9 実績 [B]	増減 [B] - [A]	% [B] / [A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	540	534	▲6	98.7%
空港使用料収入	227	215	▲11	94.8%
旅客施設使用料収入	167	170	3	102.0%
給油施設使用料収入	81	83	2	102.8%
その他収入	64	64	▲0	99.2%
営業利益	61	70	8	114.6%
(営業利益率)	10.7%	12.5%	1.8%	

主な増減要因

- 航空機発着回数、航空旅客数、給油量の増加により、旅客施設使用料収入、給油施設使用料収入は増収となったものの、国際線着陸料の引き下げによる空港使用料収入の減少により営業収益は減収
- 減価償却費等の費用が減少したことから、営業利益は増益

セグメント別損益の状況②



リテール事業

(単位：億円)

	2012.9 実績 [A]	2013.9 実績 [B]	増減 [B] - [A]	% [B] / [A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	247	288	41	116.8%
物販・飲食収入	165	205	39	124.0%
構内営業料収入	42	45	3	108.2%
その他収入	39	37	▲1	95.6%
営業利益	72	87	14	119.9%
(営業利益率)	29.3%	30.3%	1.0%	

主な増減要因

- 国際線外国人旅客・国内線旅客の増加や円安効果等により、子会社からの物販・飲食収入及び一般テナントからの構内営業料収入が増加
- これにより、増収増益

セグメント別損益の状況③



施設貸付事業

(単位：億円)

	2012.9 実績 [A]	2013.9 実績 [B]	増減 [B] - [A]	% [B] / [A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	152	157	4	103.1%
営業利益	66	73	6	109.7%
(営業利益率)	41.1%	43.9%	2.8%	

主な増減要因

建物貸付料の割引措置の
解消やLCC利用増に伴う
空港内駐車場収入の増加
等により、増収増益



鉄道事業

(単位：億円)

	2012.9 実績 [A]	2013.9 実績 [B]	増減 [B] - [A]	% [B] / [A]
営業収益 (外部顧客に対する売上高)	14	14	0	103.2%
営業利益	2	3	0	128.8%
(営業利益率)	16.1%	20.5%	4.4%	

主な増減要因

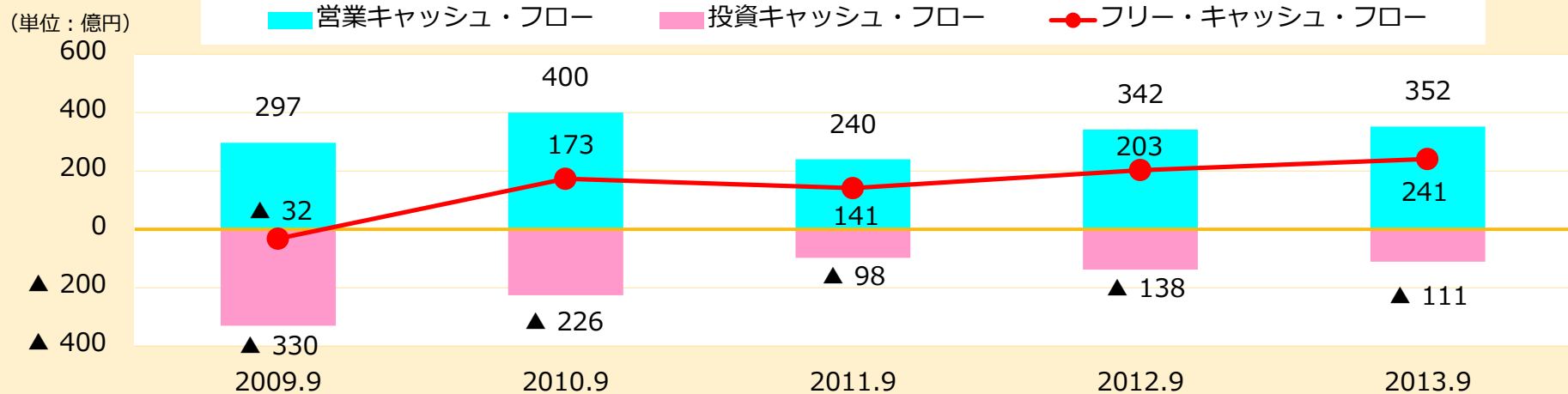
成田スカイアクセスの
線路使用料の増加等に
より、増収増益

中間キャッシュ・フローの概要

(単位：億円)

	2012.9 実績	2013.9 実績	増減
営業キャッシュ・フロー	342	352	10
投資キャッシュ・フロー	▲138	▲111	27
フリー・キャッシュ・フロー	203	241	37
財務キャッシュ・フロー	▲213	▲206	6
現金及び現金同等物の期末残高	272	337	65

中間連結キャッシュ・フローの推移



財務体質の強化に向け、引き続きフリー・キャッシュ・フローの黒字を維持